



かしこく やさしく たくましく 地域とともに

栃木中央小だより

1月号

文責 校長 平野 宗

全 呂くん



【登校班編成会議の様子】

冬休みが終わり、家庭や地域で冬休みならではの体験をして子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。それぞれの表情から、「今年もがんばろう。」という意欲が伝わってきました。

3学期も、子どもたちにとって楽しく充実した学校生活となるよう取り組み、また、進級や中学校への進学を前に、学年のまとめの学習にも力を入れてまいります。

今学期も、御協力をよろしくお願ひいたします。



「学び合い ふれあい 支え合い」子どもも大人も夢を育む学校 山本有三先生の教えを日々実践する学校

12月から1月中旬頃の教育活動の様子を学校経営の重点的な取組の視点でお知らせします。

★「主体的・対話的で深い学び」の実現

<異学年交流授業の工夫>

1年生は、生活科の学習で秋の木の実などを使ったおもちゃ作りを行いました。2年生は、自分で考えたアイデアいっぱいのおもちゃ作りを行いました。自分たちの作ったおもちゃについて、相手のことを考え、遊び方をわかりやすく説明する力を育てるために、異学年交流を実施しました。

また、音楽の授業に専門家をお招きし、ピアノ演奏を鑑賞したり、一緒に歌ったりする交流も行いました。



【自分たちで作ったおもちゃで交流学習】

【専門家による音楽の授業で交流】

<豊かな体験活動の推進～5年臨海自然教室～>

5年生が、1/15（水）～1/17（金）に茨城県にあるとちぎ海浜自然の家やアクアワールド大洗で臨海自然教室を行いました。

自然の家では、施設内でのオリエンテーリングや海水からの塩づくりを体験したり、貝を使ったキーホルダーを作ったりする活動などに取り組みました。

3日目は、アクアワールド大洗に行き、様々な海の生き物を見学して、生命の不思議さや大切さを感じていました。

活動班や生活班での自分の役割に責任をもって取り組むことや仲間と協力することを通して成長する姿が見られました。



【海辺の散歩】



【塩づくり体験】



【貝のキーホルダー作り】



【アクアワールド見学】

<多様な他者と協働して課題を解決できる児童の育成>



本校では、4年生以上の各学級から参加する代表委員、各委員会の代表が参加し、企画委員会が司会進行を務める代表委員会「Cサミット」を行っています。

SDGsと関連させた解決すべき課題は何かを話し合いました。今回は「水を大切にする」ことを選びました。

この後、学級での取組を話し合い、実践したことを次の代表委員会で発表します。

★心身の健やかな成長を促す教育の充実

<養護教諭・栄養教諭との連携指導>

1年生では、学級活動で養護教諭から血液について赤血球や白血球、血小板のそれぞれの役割について学びました。

5年生では、家庭科で栄養教諭から給食での主食、主菜、副菜や牛乳、果物の栄養の働きや栄養のバランスをとる工夫を学びました。



<体力・運動能力の向上～タスキをつないだ駅伝交歓会～>



12/5(木)に、陸上部の代表児童が、栃木地区小学校駅伝交歓会に出場しました。

友好レースでの仲間の活躍に続き、本レース(6区間)では、一人一人が苦しくても決してあきらめず次の走者に思いをつなげて走りぬくことができ、見事に準優勝となりました。

★地域とともにある学校づくりの推進

<小中一貫教育の推進>

1/17(金)に栃木西中の本校出身の生徒の皆さんと6年生の交流学習「先輩に学ぶ」を行いました。中学校生活についての質問に答えたり、一緒にゲームをしたりして親交を深めることができました。

<山本有三先生の教えを引き継いで>



【作品コンクール表彰式】

【――忌での作文発表】



本校の先輩、栃木市名誉市民である山本有三先生の教えは、教育目標として守り継がれています。

地域の山本 有三記念会主催の感想文・感想画コンクールには、各学年からたくさんの作品を出し、1/7(火)に表彰式が行われました。

また、1/11(土)には、山本有三先生の『一一忌』が近龍寺で行われ、6年生代表児童が参加しました。山本有三先生の生き方・考え方から考えたことや、自分の将来の夢・目標について堂々と発表することができました。

<ベルマーク点数をご寄贈いただきました>

この度、(株)ツルハ様が地域での活動を認められ、ベルマーク財団より表彰されました。それを受け、(株)ツルハ様から本校へベルマーク点数の寄贈をいただきました。

本校PTAの地域交流委員会の活動やご家庭からの協力が高く評価された結果です。寄贈いただいたベルマーク点数と本校の収集分を合わせて、児童の教育活動に役立ててまいります。

